

対象器具	一般形	C級 : FBK-10651-LS17 (片面灯)、FBK-10652-LS17 (両面灯)
		B級・BL形 : FBK-20651-LS17 (片面灯)、FBK-20652-LS17 (両面灯)
		B級・BH形 : FBK-42651-LS17 (片面灯)、FBK-42652-LS17 (両面灯)
適合ランプ	東芝LEDモジュール	C級 : LEM-012006 (W) -S1 1W
		B級BL形 : LEM-024007 (W) -S1 2W
		B級BH形 : LEM-038008 (W) -S1 3W

このたびは東芝誘導灯をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
リモコン点検としてご使用になる際は、誘導灯点検用リモコン(FRC-1813TSET)の取扱説明書をご参照ください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

工事店様へ ●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

施工上のご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

器具の取り付けは、重量の耐えるところに、本体表示並びに取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、火災の原因となります。



取り付け
重量

器具を改造したり、部品の追加、LEDモジュールおよび蓄電池以外の部品の交換は絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。



改造

電源線接続の際は、取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。



電源線
接続

器具の取り付けには方向性があります。本体表示並びに取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。指定方向以外の取り付けを行うと器具落下、感電、火災の原因となります。



方向性

この器具は、直射日光のあたる場所には使用できません。そのまま使用すると、変形、変色、火災、短寿命の原因となります。



直射日光

この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用すると、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。



腐食性
ガス

この器具は、振動の激しい場所には使用できません。そのまま使用すると、器具落下の原因となります。



振動の激
しい場所

電源線接続の際は、電源線の引き込み部分から水気が入らないように防水処理を確実にしてください。感電、火災の原因となります。



防水施工

アース工事は、電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
(D種(第三種)接地工事)



アース工事

この器具は、屋内・軒下専用ですので、風が吹く場所には使用できません。そのまま使用すると器具落下の原因となります。



風

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

この器具は、周囲温度5℃～35℃以外では使用しないでください。高温で使用すると火災の原因となります。



温度

表示された電源電圧(AC100V±6%)以外で使用しないでください。間違えて使用するとLEDモジュール、点灯装置の短寿命、火災の原因となります。



電源電圧

この器具は、屋内・軒下専用です。屋外で間違えて使用すると、湿気、水気の浸入により、絶縁不良、感電の原因となります。



屋外

点灯ユニットから出ているLEDモジュール用リード線を引っ張らないでください。LEDモジュール不点の原因となります。



LEDモジュール
施工

この器具は防噴流形ではないので、直接水をかけて洗浄しないでください。器具破損の原因となります。



噴流

⚠ 注意 カバーのお手入れ方法

・やわらかい布で軽く乾拭きするか、中性洗剤の1～2%水溶液をやわらかい布に浸し、それをしぼってから拭きとってください。

東芝誘導灯点検カード

設置 年 月 日 設置場所

点検責任者

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	
・	外観 切替 性能	

●保守と点検方法

- 光源、本体などの外観の汚れを確認してください。
- 充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。
- 充電モニターが消灯しているときは、蓄電池は充電されていません。不点の原因を確認のうえ処理してください。
- 非常点灯の性能をチェックするときは連続24時間以上通電し、十分充電したのち、個別制御方式点検の開始方法を見て点検してください。20分(長時間:60分)経過後、非常点灯しているかどうか再び確認してください。
- 充電モニターが点灯していないときおよび非常点灯が20分持続しないときは、確認のうえ、適切な処理をしてください。
- ランプモニターが点滅するとLEDモジュールのお取り替え時期です。
- ランプモニターが点灯するとLEDモジュールコネクタのはずれ、破損などの異常状態です。
- LEDモジュール交換後、電源を通電し、必ずランプ交換スイッチを押してランプモニターが消灯するのを確認してください。
(注)ランプ交換スイッチは2秒以上押してください。
(注)LEDモジュール交換時以外には、ランプ交換スイッチを押さないでください。
・モニターランプの表示内容については「モニターランプ表示内容」を参照してください。

切り取って必ず保存してください



△ お願い

電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。
この器具は蓄電池を内蔵しています。電源を通電しないまま、蓄電池のコネクタをつないで放置すると過放電状態になりますので、おやめください。

内蔵蓄電池は、ご使用前に連続24時間以上充電してからお使いください。電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。

工事完了から、使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで器具を放置し、その後、蓄電池のコネクタをはずし、保存してください。

お客様へ

- この器具の取付工事は必ず電気工事に依頼してください。
- 照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工または施工管理が義務付けられています。

使用上のご注意

△ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

LED モジュール交換やお手入れの際は、必ず蓄電池をはずし、電源を切ってからお取り替えください。
感電、やけどの原因となります。



電源を
切って

LED モジュール交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書とおりの種類、ワット(W)数の適合 LED モジュールをご使用ください。適合 LED モジュール以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。



LED モジュール
交換

この器具に内蔵されている蓄電池を交換する際は、指定のものをご使用ください。蓄電池の分解およびリード線の切断は短絡、感電の原因となります。交換した蓄電池は捨てずに、リサイクルにご協力ください。



適合電池

△ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境によって異なりますが、約10年です。内蔵の部品によっては、器具寿命の前に交換するか定期的に交換してください。



寿命

点灯中および消灯直後は LED モジュールや器具が高温となっていますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。



LED モジュール
高温

点灯ユニットから出ている LED モジュール用リード線を引っ張らないでください。LED モジュール不点の原因となります。



LED モジュール
施工

△ お願い

LED モジュール交換の際は、必ず蓄電池のコネクタをはずし、電源を切ってからお取り替えください。
LEDモジュール交換後、電源を通電し、必ずランプ交換スイッチを押してランプモニターが消灯するのを確認してください。

3ヶ月に1回は破損、変形などの外観点検を行ってください。
6ヶ月に1回は LED モジュールの明るさ、非常点灯持続時間、切替動作などの機能点検を行ってください。

非常点灯持続時間(連続24時間以上充電後、非常点灯20分(長時間:60分)以上)が20分(長時間:60分)以下の場合、内蔵の蓄電池を交換してください。
点検終了後、点検結果を付属の点検カードに記入してください。

お手入れのしかた

△ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

器具のお手入れは、必ず蓄電池のコネクタをはずし、電源を切ってから行ってください。
器具が汚れたときは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。



注意

ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。



禁止

金属部分をクレンザーや、たわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。



禁止

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。
- 1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。
(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。)
- 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。



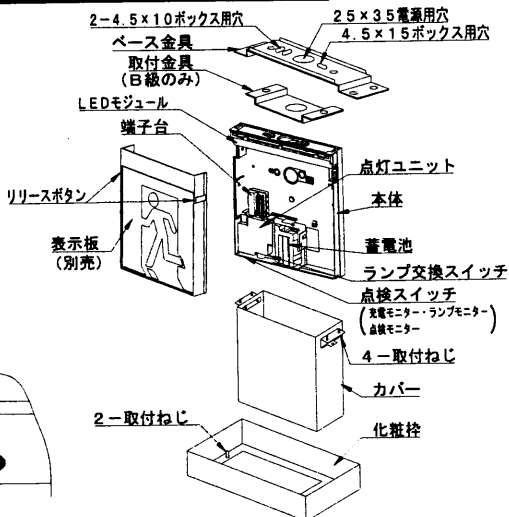
Ni-MH

この製品には、ニッケル水素蓄電池を使用しております。ニッケル水素蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
蓄電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素蓄電池のリサイクルにご協力ください。

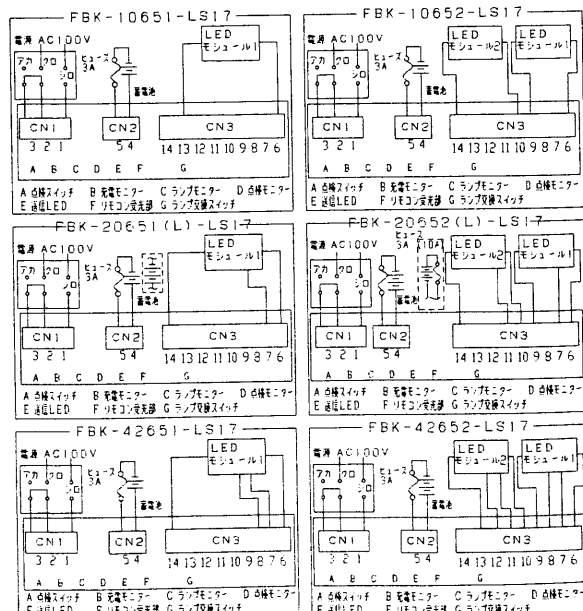
■各部のなまえ

■器具の回路図

連続24時間以上充電してからお使いください。
※電池は設置後通電し、充電しないと非常点灯しません。



この取扱説明書は同種類の誘導灯と共通になっておりますので
お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

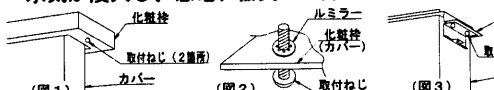


内装FBK-20651L-LS17 FBK-20652L-LS17

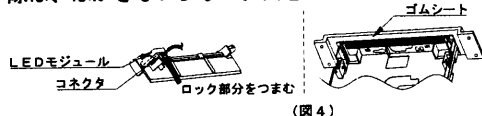
■器具の取付方法

- 1 注) 電源線の引き込み部分から水気が浸入しないよう防水処理を確実にしてください。また凹凸面に取付けないでください。凹凸面に取付ける際には、あらかじめパテ等で取付面を平滑処理してから取付けてください。指定外の取付けは防水性が損なわれ絶縁不良、感電の原因となります。
- 注) 殺菌灯と併用する場合は、殺菌線が表示板・カバーにあたらぬように設置してください。表示板、カバーの劣化の原因となります。

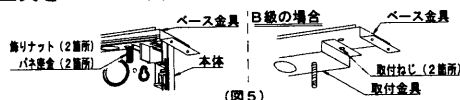
- 2 ①化粧枠に付属の取付ねじ（2箇所）をゆるめて、化粧枠を取りはずしてください。（図1）
- 注) 取付ねじに落下防止用のルミラーが付いていますので、外れないように、取りはずしてください。（図2）
- 注) 化粧枠でカバー表面を傷つけないように注意して取りはずしてください。
- ②カバーに付属の取付ねじ（4箇所）をゆるめて、カバーをベース金具から取りはずしてください。（図3）
- 注) カバーと本体の間に入っている緩衝材は梱包用ですので取りはずしてください。
- 注) カバーについている防水フィルタをはがさないでください。水気が浸入し、感電、器具の故障の原因となります。



- ③本体からLEDモジュール、LEDモジュールのコネクタをはずしてください。（図4）
- 注) FBK-42652-LS17の場合は本体にゴムシートが貼ってあるので着脱の際は、はがさないようにお気を付けください。



- ④飾りナット（2箇所）、パネ座金（2箇所）をゆるめて、本体を取りはずしてください。
- 日級の場合は、取付金具に付属の取付ねじ（2箇所）をゆるめて、取付金具をベース金具から取りはずしてください。（図5）

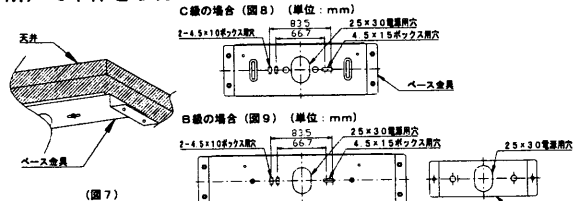


- ⑤電源線・アース線の先端をストリップしてください。
- 電源線・アース線のストリップは、（図6）のようにストリップしてください。



3 ●天井に取り付ける場合

- ①ベース金具の25×30電源用穴に電源線を引き込み、木ねじ（φ3.8・非細）でベース金具を天井に取付けてください。（図7）（図8）（図9）
- 日級の場合は、本体取付金具の25×30電源用穴に電源線を引き込み、付属の取付ねじ（2箇所）で取付金具をベース金具に取付けてください。
- 注) 取付の際は天井とベース金具に隙間が出来ないように木ねじで確実に締め付けてください。
- 木ねじの締め付けがゆるいと器具落下、防水性が損なわれ絶縁不良、感電の原因となります。また、木ねじを締めすぎるとベース金具が変形し、器具破損の原因となります。
- ②本体内に電源線を引き込み、飾りナット（2箇所）、パネ座金（2箇所）で本体を取付けてください。



●パイプ吊りにして取り付ける場合

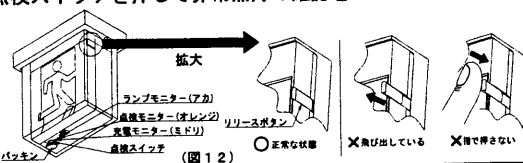
適合吊装置：PW-5111WP

- ①吊装置（別売）のサポート部を天井に取付けてください。
- 取り付けに不備がありますと器具落下の原因となります。
- ②器具内に電源線を引き込み、器具をパイプに取付けてください。
- 取り付けに不備がありますと器具落下の原因となります。
- ③パイプをサポート部に引っかけて結線してから、ロックナットで確実に固定し、サポートカバーを固定してください。

- 4 ①電源線を端子台に接続してください。
- 注) 器具の容量は20Aです。容量を超えると発熱、火災の原因となります。
- 注) 電源線を接続の際はLEDモジュールをはずした状態で行ってください。
- ②アース線を端子台に接続してD種（第3種）接地工事を施してください。
- 注) 電源線を接続後、余分な電源線は電源穴から押し戻してください。
- ③LEDモジュールのコネクタを確実に接続してください。
- ④LEDモジュールを器具に取付けてください。（図10）
- LEDモジュールはランプ線だけで吊り下げないでください。
- ⑤電源通電後、蓄電池を点灯ユニットのコネクタにカチッというまで確実に取付けてください。（図11）
- ⑥付属の設置年マークを認定証票付近に貼ってください。



- ⑦表示板の取付けは、表示板のリリースボタン部と器具の溝を合わせた状態で器具にはめ込み、はめ込んだ状態で上側に表示板をスライドさせリリースボタンがカチッとはまるまで上側に押し上げてください。
- その際ランプ線を挟まないように本体に取付けてください。
- 注) 表示板がきちんと取り付けられているか、左右のリリースボタンが飛び出していないことを確認してください。（図12）
- 注) 表示板取付け時はリリースボタンの操作は不要ですので、リリースボタンを押ししたり曲げたりしないでください。
- ⑧点検スイッチとパッキンの位置を合せながらカバーをベース金具に取付ねじ（4箇所）で取付けてください。
- 注) ねじの締めこみが不十分ですと水気が浸入し、感電、器具の故障の原因となります。
- ⑨化粧枠をカバーに取付ねじ（2箇所）で取付けてください。
- ⑩取付けが終了しましたら、器具が正常に動作するか保守と点検方法をご参照のうえ、充電モニターの点灯確認とパッキンの突起を押し込んで点検スイッチを押して非常点灯の確認をしてください。（図12）



■表示板・LEDモジュール・蓄電池・電源線の取りはずし方

- [2]の①→②の手順で施工してください。

●表示板

- ①表示板のリリースボタンを両手で左右同時に矢印の方向に引いてください。（図13）
- ②リリースボタンを引きながら表示板を下方向にスライドさせてください。（図14）
- ③表示板がずれましたら、手前に引いて表示板を取りはずしてください。（図15）
- 注) 完全にスライドさせると落下防止の溝に嵌まります。その際は上に持ち上げながら手前に引いてください。

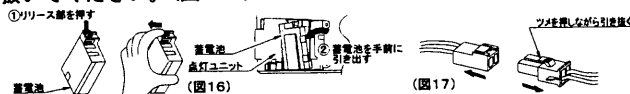


●LEDモジュール

- ①表示板をはずした後、LEDモジュールを手前に引いてください。
- ②LEDモジュールコネクタのロック部分をつまみ、コネクタをはずしてください。（図5）
- 注) LEDモジュールは交換の際に分解しないでください。

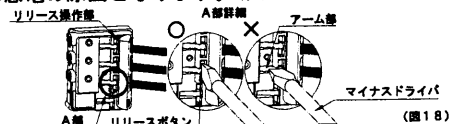
●蓄電池

- ①蓄電池の奥を指で押さえ、リリース部を押しながら蓄電池の下部を支点に手前に引き出すようにしてはってください。（図16）
- ②FBK-20652L-LS17の場合は蓄電池のコネクタのツメを押しながら引き抜いてください。（図17）



●電源線

- ①使用工具は、先端が6~7mmの電工マイナスドライバを使用すること。
- これ以外の工具を使用した場合、リリースボタンが正常に動かなくなり、電源線の解除ができなくなる恐れがあります。
- ②必ずリリースボタンをマイナスドライバで真っ直ぐに押し込んで線を引き抜いてください。リリースボタン以外を押した場合は端子台が損傷され感電の原因となります。（図18）

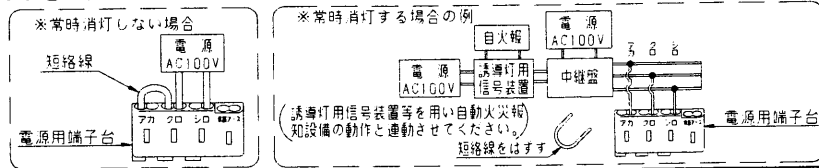


■LEDモジュールの取付方法

- 注) 必ず適合ランプを取付けてください。
- ①LEDモジュールのコネクタを確実に接続してください。
- ②LEDモジュールを器具に取付けてください。（図9）
- 注) 本体に設けているランプ線押えの溝にランプ線を固定し、確実に張り止めを行ってください。固定しないランプ線の断線、ランプの不点につながりますのでご注意ください。
- ③電源通電後、蓄電池を点灯ユニットのコネクタに取付けてください。（図10）
- ④点灯ユニットに付いているランプ交換スイッチを必ず2秒以上押しってください。（赤色のランプモニターが点灯しているか確認してください。）
- 4の⑦→⑩の手順で施工してください。

■配線方法

- ①器具の配線は図のように結線してください。電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。
- ②配線方法は原則として2線引配線です。3線引配線を行う場合には、所轄の消防局（庁）の了解を得てください。
- ③3線引配線を行う場合には、端子台に接続してある短絡線をあらかじめ取りはずして結線してください。
- ④赤黒の短絡線を外す際は同時に外すことができませんので、端子台の赤と黒のリリースボタンをそれぞれ押して、少しずつ引き出しながら外してください。
- ⑤電源線を端子台に接続してください。
- ⑥蓄電池の放電を防ぐためにコネクタをはずしてありますので、ご使用の際には電源通電後、コネクタを差し込んでください。



■モニターランプ表示内容

[正常状態]		[異常状態]	
充電モニター (ミドリ)	点灯	充電 モニター (ミドリ)	点灯状態
ランプモニター (アカ)	消灯	充電 モニター (ミドリ)	点滅
点検モニター (オレンジ)	消灯	ランプ モニター (アカ)	点灯
[点検状態]		点検 モニター (オレンジ)	点灯
充電モニター (ミドリ)	消灯	考えられる原因	
ランプモニター (アカ)	消灯	対処方法	
点検モニター (オレンジ)	点滅	考慮される原因	
		蓄電池コネクタがはずれている	コネクタを接続してください。
		電源線が接続されていない	電源線を正しく接続してください。
		蓄電池の寿命	新しい蓄電池と交換してください。
		LEDモジュールが破損している	LEDモジュールを交換してリセットスイッチを2秒以上押してください。
		LEDモジュールコネクタがはずれている	コネクタを接続して点検スイッチを押してください。
		LEDモジュール寿命	LEDモジュールを交換してリセットスイッチを2秒以上押してください。
		点検が中断された	連続24時間以上充電したあとに、再度点検を実施してください。

注1) ランプ交換後、リセットスイッチを2秒以上押さないと正常状態に復帰しません。

注2) 点検の際には連続24時間以上充電した後、自動点検機能により点検を行ってください。点検の結果、充電モニターが点滅した場合は必ず蓄電池を交換してください。また、蓄電池をはずした場合には点滅動作がリセットされますのでご注意ください。

注3) 蓄電池交換の際は、通電状態で交換してください。電源遮断状態で交換すると、モニターの点滅が停止しない場合があります。

■仕様

形名	FBK-10651-LS17	FBK-10652-LS17	FBK-20651-LS17	FBK-20652-LS17	FBK-42651-LS17	FBK-42652-LS17	FBK-20651L-LS17	FBK-20652L-LS17
電 源	交流 100V 50Hz または 60Hz							
入力電流	0.05A	0.07A	0.07A	0.09A	0.09A	0.14A	0.07A	0.11A
消費電力	2.5W	3.6W	3.6W	5.4W	5.0W	8.1W	3.6W	6.1W
光 源	LEM-012006(W)-S1 X1	LEM-012006(W)-S1 X2	LEM-024007(W)-S1 X1	LEM-024007(W)-S1 X2	LEM-038008(W)-S1 X1	LEM-038008(W)-S1 X2	LEM-024007(W)-S1 X1	LEM-024007(W)-S1 X2
電 源	密閉形 Ni-MH 蓄電池 2HR-AE-TN X1 2.4V 700mAh							
光 源	LEM-012006(W)-S1 X1	LEM-012006(W)-S1 X2	LEM-024007(W)-S1 X1	LEM-024007(W)-S1 X2	LEM-038008(W)-S1 X1	LEM-038008(W)-S1 X2	LEM-024007(W)-S1 X1	LEM-024007(W)-S1 X2
質量 (表示板込)	1.1kg	1.3kg	2.2kg	2.6kg	2.2kg	2.6kg	2.2kg	2.7kg

(注) 点灯直後の入力電流、消費電力は若干高くなります。

保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ・ランプ、点灯管、蓄電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- ・保証期間を過ぎている時は、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関する相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。その際は、器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移動、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

- ・修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- ・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ・補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造切後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。(セード・グローブなどは含まれません。)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談できない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048

受付時間: 365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-861-6485 (通話料: 有料)

FAX 0570-000-661 (通話料: 有料)

お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社

照明器具事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

TEL(046)862-2092 FAX(046)861-8796

お客様はお読みになったあと必ず保存してください。